

---

# 遊戯王GX.....系？俺、転生するの？

ドウルジ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遊戯王GX……え？俺、転生するの？

### 【Nコード】

N4914V

### 【作者名】

ドウルジ

### 【あらすじ】

突然神に転生させられると言うテンプレを味わった主人公、彼は遊戯王GXの世界で何をするのか？ 作者は素人の上これが処女作です誤字・脱字等が多々ありますが御容赦ください、ちなみに作者に文才はありません、ただ妄想を書き綴るだけの文章です、設定も力づくですがそれでもいい方は、読んでみてください

……え？ここ何処？（前書き）

ドウルジと申します、設定等力ずくですがよろしく願います

……え？ここ何処？

ここは何処だ？

俺は部屋で寝てたはずだが？

「ここは世界の間じゃよ」

誰？このじいさん？

「じいさんとは失礼な！わしはおぬしらで言う神じゃよ」

ああ、頭が残念なじいさんだったのか…あれ？俺今声出してないぞ？

「神なんじゃから人の心くらい読めるわい」

まじでか！このじいさん神だったのか！！

「最初から言つとるじゃろっ」

「でも、神様が俺に何の用なんだ？」

「おぬし転生してみんか？」

ん？転生？

「どうゆう事だ？俺死んでたの？」

「わしがまちごうて殺したんじゃよ」キラッ

「そこに正座しろ」

「え？」

「正座しろってんだよオ」

「ハッハイ!!」

「お前何してくれてんの？」

「すいません！」

「すいません出済むとも思ってるのか？アァ？（。言。）」

「願いを五個叶えさせていただきます！」

「チツ、まあいいさ」

「ちなみに転生する世界は遊戯王GXの世界です」

「遊戯王カードを全種類10枚づつ、次は鬼巫女をそのまま、幸運EXに黄金率EX最後に仲間を連れて行きたい」

「大丈夫じゃ、それくらいなら問題ない、仲間は三人まで連れて行けるぞ、誰を連れて行く？」

「まず、BLEACHから黒崎一護、次に東方から八雲藍、最後に同じく東方から十六夜咲夜、だ」

「わかったぞ、では仲間は向こうに着いたら合流じゃ、ではの」

パカ

「…え？」

俺の足場がきえた……

「この、駄神がア—————!!!!!!」

俺はそのまま意識を失った

神Side

「ふう、ようやく行っただわい、」

ピラ

「これは…あやつの転生書類じゃな」

フーム……って、あれ？

「まちごうてフラグメーカー（強）付けてもったわい……まあいいかの」

次回へ続く

……え？ここ何処？（後書き）

ではまた次回！



知らない天井だ（前書き）

どうも、ドウルジです今回もよろしくお願いします

知らない天井だ

……っは

知らない部屋でめがさめた

「知らない天井だ」

やった、これは言いたいセリフだったんだよな

「さて、ここ何処だ？」

さゝさげゝげゝろげろ血 雫ちゆるちゆるでゝうまうまなゝ

「着信？誰からだ？」

く神く

「何の用だ」

『じつはのう、おぬしにフラグメーカー（強）を間違えて付けてしまったんじゃないよ』

「お前、ちょっとこっち来い、鬼巫女の実験台にしてやる」

『すみません！……代わりにオリジナルカード作れる用にしたんで許してください！……！』

「まあいいだろう、どうやって作るんだ？」

『カードの種類と名前、効果等を決めて、イメージするだけじゃよ』

「わかった、ちなみに呼んだ仲間は何処に居るんだ？」

『その家のなかに居るはずじゃ、ちなみにわしに連絡したいときはこの携帯で出来るぞ、では元氣での』

「じゃあな」

さて、みんなを探しに行きますか

次回へ続く

知らない天井だ（後書き）

ではまた次回

**まずは自己紹介から（前書き）**

どうもドウルジです、会話ばかりですがよろしく願いします

地の文増やした方がいいですかね？

## まずは自己紹介から

主「とりあえずリビングに行くか」

少年移動中

ガラッ

主「お、三人とも居たのか」

一「アンタが俺達を呼んだのか」

主「ああ、だって一人じゃ退屈じゃん」

一「確かにな」

咲「とりあえず自己紹介しましょう？貴方をなんて呼んだらいいのかわからないし」

主 恭「あー、それもそうだな、俺は<sup>ハザマキヨウスケ</sup>裕恭介、歳は15だ」

一「俺は黒崎一護、こっちに来てから15才まで歳が下がってる」

咲「私は十六夜咲夜よ、私は14才になってるわね」

藍「私は八雲藍だ、私も見た目15才まで若返ってるな、まあ私達は本人じゃ無いからな」

……ん？

恭「本人じゃ無い？」

藍「ああ、私達は本人のコピーみたいな物だ、まあこの世界には本人は居ないから私達が本人に成るんだがな」

恭「そういう事が、まあ俺にしてみれば、三人とも仲間だし本人とかコピーとか関係ないな」

藍「フフツそうか？」

恭「ああ」

一「そーいや、このあとどうするんだ？アカデミアの試験まで一週間だけど？」

恭「そーだな、とりあえずはデッキ調整だな、そーいえば皆遊戯王わかるか？」

咲「ええ、神様から教えてもらったから」

ふーん……

恭「なら今からデュエルしてみるか？」

一「なら俺がやるぜ、一度やって見たかったんだよ」

恭「ならデッキとってくる、庭で集合な」

一「おう、わかった」

少年達移動中

恭「じゃあ始めるか」

—「ああ！」

—・恭「デュエル！！！」

次回へ続く



## まずは自己紹介から（後書き）

申し訳ございませんm（――）m  
キャラ崩壊しまくりな気がします、  
本人じゃなく、コピーだから、みたいな感じでスルーしてくれると  
ありがたいです

次回ついに初デュエルです、まともにかけるかな？  
ではまた次回！

## デュエル！！恭介vs一護（前書き）

どうも、ドウルジです今回は初のデュエルです、恭介にはチートドロームもついてます、あっさり終わりますが楽しんでもらえれば幸いです

## デュエル！！恭介vs一護

恭介

ライフ4000

手札五枚

一護

ライフ4000

手札五枚

恭「俺のターン、ドロ」

手札五枚 六枚

これはいい手札だな

恭「俺はモンスターを一枚セットしカードを二枚セット、ターンエンドだ」

手札六枚 三枚

フィールド

セットモンスター一枚

魔法・罾

二枚

—「ドロー」

手札五枚 六枚

—「俺は手札から護廷十三隊隊員を召喚」

護廷十三隊隊員

モンスター・ 4

地属性・死神族

攻撃1800 守備1500 効果

自分のスタンバイフェイズ時このカードが自分フィールド上に存在するとき手札を一枚墓地に送りデッキ・手札・墓地から護廷十三隊隊員を特殊召喚することが出来る

—「更に手札から装備魔法・浅打ちを発動」

浅打ち

装備魔法カード

攻撃力を800ポイントアップする

このカードは護廷十三隊と名の付いたカードにしか装備できない  
—「これで隊員の攻撃力は2600、セットモンスターを攻撃！」

セット マスクド・ドラゴン

守備力1100

死覇装（黒い着物？）を着た男がマスクド・ドラゴンを切り裂いた

恭「くつ、だがこの時マスクド・ドラゴンの効果を発動！デッキからデルタフライを特殊召喚！」

—「カードを一枚セットしターンエンドだ」

手札六枚 三枚

フィールド

護廷十三隊隊員

魔法・罨

一枚

恭「俺のターン！ドロー」

手札三枚 四枚

来た！！

恭「俺は手札からレッドアイズ・ワイバーンを召喚！更にワイバーンを除外し、レッドアイズ・ダークネス・メタルドラゴンを特殊召喚！」

—「何！？」

恭「更にダークネスメタルドラゴンの効果で手札からレッドアイズ・ワイバーンを特殊召喚！行くぞ、デルタフライの効果によりワイバーンのレベルが一上がる」

4 5

恭「レベル5レッドアイズ・ワイバーンにレベル3デルタフライを  
チューニング！」

5 + 3 = 8

恭「王者の鼓動今此処に列を成す！天地鳴動の力を見るがいい！シ  
ンクロ召喚！行くぞ！我が魂！レッド・デーモンズ・ドラゴン！」

ー「トラップカード発動奈落の落とし穴！」

恭「甘い！トラップ発動！トラップスタン！このターン全てのトラ  
ップカードを無効化する！更に手札から一族の結束を発動！墓地に  
存在するモンスターの種族が一種類のみの時、同じ種族のモンス  
ターは攻撃力が800ポイントアップ！」

レッド・デーモンズ・ドラゴン

攻撃力3000 3800

レッドアイズ・ダークネス・メタルドラゴン

攻撃力2800 3600

ー「負けた…か」

恭「ダークネスメタルドラゴンで攻撃ダークネスメタルフレア！」

隊員2600x

ダークネスメタルドラゴン3600

ダークネスメタルドラゴンが放った火炎弾に包まれて隊員は破壊さ

れた

一護

ライフ4000 3000

ー「うわっ!」

恭「レッド・デーモンズ・ドラゴンで攻撃! アブソリュート・パワーフォース!!」

一護

ライフ3000 - 800

ー「恭介、お前強いな」

恭「いや、今回は手札がよかったただだよ、このデッキ手札事故起こしたら目も当てられないからな」

ー「そうか? まあいいさ、とりあえず腹減ったから飯食おうぜ」

恭「ハイよ」

次回へ続く

デュエル！！恭介vs一護（後書き）

多分次はキンクリします  
ではまた次回！



腹ごしらえと話し合い……………あ？またデュエル？（前書き）

どうも、ドウルジです今回もよろしくお願いします

腹ごしらえと話し合い……………系？またデュエル？

—「そういえば、恭介はデッキ調整するんじゃないのか？さっきデュエルしたけど？」

恭「ああ、神からカードもらったしドラゴンデッキ強化しようと思っ  
つてな」

咲「言うことは、一護は強化前のデッキに負けたって事ね？」

—「あれが更に強化されるのか、エグイな」

恭「そんなことないさ、ライフが8000有れば逆転される可能性  
あったし」

藍「そうなのか？私にはかなり一方的なゲーム展開に見えたが？」

恭「いや、俺は手札を全て使い切ったし、大嵐を使われれば攻撃力  
も下がる、大嵐が無くてもモンスター除去カードが有れば逆転は可  
能だ」

—「なるほどな、だけどこの世界じゃあライフは4000だから気  
にすること無くないか？」

恭「万が一のためにな」

—「まあ、そうだな」

恭「話はこれぐらいにして早く飯食おうぜ、腹減ってきた」

藍「そうだな、じゃあ」

一・恭・咲・藍「」「」「」「」

少年少女食事中…

恭「それじゃ俺は部屋でデッキ調整してるからなんかあったら呼んでくれ」

一「おう、わかった」

少年移動中…

恭「さてと、始めるとしますか」

少年デッキ改造中…

恭「出来た、ついでたしオリカで新しいデッキ作るかな」

少年デッキ制作中…

恭「出来たけど……これはうかつに使えないな」

恭介が創ったのは

ガンダムSEEDデッキ

モンハン古龍デッキ

ドラクエデッキ

である、

恭「ドラクエデッキはともかくガンダムSEEDと古龍デッキはやばいなそうそう使えないな」

—「おい、恭介、ちょっと来てくれ」

ん？何かあったのか？

恭「分かった、今行く」

恭「どうした？」

咲「私もデッキを作ったからデュエルの相手を頼めるかしら？」

恭「いいぜ、今からやるか？」

咲「ええ、それじゃ庭に出ましょ」

少年少女移動中…

恭「それじゃ始めるとしますか」

咲「ええ」

咲・恭「デュエル」

次回へ続く

腹ごしらえと話し合い……………え？またデュエル？（後書き）

なんかいろいろとすみませんm（——）m

原作入る前に咲夜や藍とデュエルさせておきたいのでしばらくこんな感じです

ではまた次回～

楽しんでもらえれば幸いです

## デュエル！恭介vs咲夜（前書き）

どうもドウルジです今回はいろいろぶっこわれてますがそれでもいい方はどうぞ

## デュエル！恭介vs咲夜

恭介

ライフ4000

手札五枚

咲夜

ライフ4000

手札五枚

咲「私のターン、ドロー」

手札五枚 六枚

咲「私は手札からフィールド魔法《紅魔館》を発動！」

紅魔館

フィールド魔法カード

このカードがフィールド上に存在する時、紅魔と名の付くカードは攻撃力が600ポイントアップし戦闘では破壊されない

咲「更に手札から紅魔の門番・紅美鈴を召喚！」

紅魔の門番・紅美鈴

モンスター・ 4

風属性・戦士族

攻撃力1800 守備力2200



効果

この効果はフィールド上に紅魔館が存在する時のみ発動する  
このカードがフィールド上に存在する時、紅魔と名の付くモンスターが戦闘を行う場合相手モンスターの攻撃力は300ポイントダウンする

美「紅美鈴、行きます!!」

咲「なんでこの中国しゃべってるのかしら?」

美「紅魔館の皆で咲夜さんに自分のコピーを付けて来たんですよ、そのカードを媒体に、後中国って言わないで下さい」

咲「まさか、お嬢様達も?」

美「はい」

咲「じゃあ早くお嬢様達を出さなきゃね」

咲「カードを二枚セットしてターンエンド」

咲夜

ライフ4000

手札二枚

フィールド魔法《紅魔館》

フィールド上

紅美鈴

魔法罫

二枚

恭「俺のターン、ドロ」

手札五枚 六枚

これは……微妙な

恭「俺は手札からメタルスライムを守備表示で召喚！」

メタルスライム

モンスター 2

地属性・スライム族

攻撃力0 守備力2400

このカードは一ターンに二回まで戦闘では破壊されない

このカードは相手プレイヤーの発動した魔法・罠カードの効果を受けない

恭「更に手札からカードを二枚セットしてターンエンドだ」

恭介

ライフ4000

手札三枚

フィールド上

メタルスライム

魔法・罠

二枚

咲「私のターン、ドロ」

手札二枚 三枚

咲「私は手札から紅魔のしもべ・メイド妖精を召喚」

紅魔のしもべ・メイド妖精

モンスター 2

風属性・天使族

攻撃力400 守備力800

効果

このカードが召喚された時フィールド上に《紅魔館》が存在する場合デッキから紅魔のしもべ・メイド妖精を二体まで特殊召喚できる

咲「このカードの効果により、デッキからメイド妖精を二体特殊召喚！更に手札から二重召喚を発動！メイド妖精を二体生け贄に捧げ！紅魔の主・レミリア・スカーレットを召喚！お嬢様、出番です！」

紅魔の主・レミリア・スカーレット

モンスター 8

闇属性・悪魔族

攻撃力3000 守備力2400

効果

このカードがフィールド上に存在する限り、フィールド魔法《紅魔館》は破壊されない

一ターンに一度自分の墓地から紅魔と名の付くカードを一枚手札に加えることができる

このカードが守備表示モンスターを攻撃した時攻撃力が守備力を上回っているぶんダメージを与える

レ「待つてたわよ咲夜」

咲「はい、行きます！お嬢様でメタルスライムに攻撃！スピア・ザ・グングニル！！」

メタルスライム

守備力2400x

レミリア

攻撃力3000○

恭「グウ！」

恭介

ライフ4000 3400

恭「だがメタルスライムは二ターンに二回まで戦闘では破壊されない！」

咲「私はこのままターンエンドよ」

咲夜

手札零枚

フィールド魔法《紅魔館》

モンスター

紅美鈴

メイド妖精

レミリア

魔法・罨  
二枚

やばいなこのままじゃ負ける

恭「俺のターン！ドロー！」

手札三枚 四枚

これなら！

恭「俺は手札からぶちスライムを召喚！」

ぶちスライム

モンスター 3

地属性・スライム族

攻撃力800 守備力500

効果

このカードを召喚・特殊召喚・反転召喚した時、ライフを500ポイント払い手札・イント払い手札・デッキ・墓地からぶちスライムを二体まで特殊召喚できる

恭「ぶちスライムの効果発動！ライフを500ポイント払い手札・デッキ・墓地からぶちスライムを二体特殊召喚！」

ライフ3400 2900

恭「更に手札から二重召喚を発動！三体のぶちスライムを生け贄に、来い！わたぼう！」

わたぼう

モンスター 12

神属性・精霊族

攻撃力4000 守備力5000

効果

このカードは特殊召喚出来ないフィールド上のモンスターを三体生け贄に捧げることでのみ召喚できる、このカードがフィールド上に存在する限り相手プレイヤーは攻撃宣言を行えない

このカードは墓地のカードを一枚除外することで魔法・罫・モンスター効果を無効化し破壊することができる、この効果はスペルスピード3として扱う

恭「更に手札から魔法カードマダンテを発動」

マダンテ

魔法カード

手札を全て捨て、ライフを半分払い発動する  
相手プレイヤーのフィールド上に存在するカードを全て除外する

ライフ2900 1450

咲「トラップカード発動！神の宣告！」

恭「わたぼうの効果発動！墓地のカードを一枚除外して神の宣告を無効化し破壊する！！」

咲夜

ライフ4000 2000

咲「そんな……フィールドがから空きに」

恭「行くぞ！わたぼうでダイレクトアタック！ビッグバン！！」

咲夜

ライフ2000 - 2000

咲「きゃあ！」

恭「大丈夫か？」

咲「ええ、大丈夫よ、」

恭「そうか、よかった」(ニコッ)

咲  
レ  
レ  
レ  
レ  
レ  
レ

恭「どうした？顔赤いぞ、風邪か？」

こつん（でこをくっつけた音）

咲「／／／／／／／／／／な、なんでもないから！大丈夫だから！」

恭「そうか？なら良いけど」

咲「／／／／今日はもう遅いからもう寝ましよう」

恭「そうだな、お休み」

咲「ええ、お休みなさい」

次回へ続く

おまけ／／そのころの一護達

一「あれ？俺は放置かよ、まあいいや部屋帰って寝よう」



藍  
「  
Z  
Z  
Z  
Z  
」

## デュエル！恭介vs咲夜（後書き）

次回は藍しやまとのデュエルです！キャラ崩壊は諦めた！  
ではまた次回！

朝？の話……………またデュエルか（前書き）

更新遅れました

今回はとくに短いです

すいません

では、本編どうぞ

朝？の話……………またデュエルか

恭「ふぁゝ、よくねたな、今何時だ？」

時計を見たところ既に11時だった

恭「とりあえず、リビング行くか」

少年移動中

恭「おはよう」

藍「お、やっと起きたか？」

恭「ああ、咲夜と一護は？」

藍「お使いに行ってもらった、一護は荷物持ちだ」

恭「ふーん、そっか、そういえばさ、金ってどこから出してんの？」

藍「ああ、それなら神様が金庫に入れてくれてたぞ」

恭「そうなのか？なら少しあいつに感謝しなきゃな」

藍「そうしておいてやれ、仮にも神様なんだから」

恭「ただな、あいつミスが多いからな」

藍「そうか？まあしょうがないだろう、神様だって忙しいみたいだし」

恭「まあしょうがないか、」

藍「ああ、そういえば、恭介今暇か？」

恭「ん？まあ暇だけど」

藍「ならデュエルしてくれないか？私もデッキが完成したんだ」

恭「ああ、いいぜ」

藍「なら、庭に出よう」

少年少女移動中

藍「じゃあ始めるか」

恭「ああ！」

恭・藍「デュエル！！！！」

次回へ続く

朝？の話……………またデュエルか（後書き）

次はデュエルです  
ではまた次回！

デュエル！恭介vs藍（前書き）

更新遅れてすみませんでした！  
では本編どうぞ



## デュエル！恭介VS藍

藍

ライフ4000

手札五枚

恭介

ライフ4000

手札五枚

藍「私のターン、ドロ」

手札五枚 六枚

藍「私は手札からフィールド魔法幻想郷を発動」

幻想郷

フィールド魔法カード

このカードがフィールド上に存在する限り、幻想族モンスターはフィールドから離れるとき墓地に送られず手札に戻る

このカードは自分スタンバイフェイズ毎に500ライフポイント払わなければ破壊される

藍「更に手札から橙を召喚」

式神・橙<sup>ちえん</sup>

モンスター 4

幻想族・地属性

攻撃力1700 守備力1000

効果

このカードは自分スタンバイフェイズ時に次の効果を一つ選び発動できる

手札からモンスターカードを一枚捨てて発動するこのカードは相手プレイヤーにダイレクトアタックできる

手札から魔法カードを一枚捨てて発動するこのカードはこのターン二回まで攻撃することができる

手札から罠カードを捨てて発動するこのターン相手プレイヤーは罠カードを使用できない

橙「藍しゃま、待つてましたよ」

藍「あゝ、橙はかわいいな」

恭「おゝい、早く進めてくれ」

藍「ああ、すまん」

藍「最後にカードを二枚セットしてターン終了」

手札六枚 二枚

フィールド魔法幻想郷

モンスター

橙

魔法・罨

二枚

恭「俺のターン、ドロ」

手札五枚 六枚

うわー、事故つたな

恭「俺は、カードを二枚セットしてターンエンド」

手札六枚 四枚

藍「私のターン、ドロー」

手札二枚 三枚

藍「私は幻想郷の維持コストを払う」

藍

ライフ4000 3500

藍「手札から冥界の庭師妖夢を召喚」

冥界の庭師妖夢

モンスター 4

幻想族・地属性

攻撃力2000 守備力1500

効果

このカードが裏側守備表示モンスターに攻撃する時ダメージステッ  
プを行わず、裏側のまま破壊する

妖「私の出番ですね!!」

恭「スマン、罨発動激流葬」

妖「みよ~~~~ん」

橙「藍しゃま~~~~」

藍「ちえ~~~~ん!!!!」

恭「すまん、とりあえず進めてくれ」

藍「うう、幻想郷の効果で妖夢と橙は手札に戻る」

藍「そのままターンエンドだ！」

手札三枚 四枚

恭「俺のターン、ドロー」

手札四枚 五枚

来た！！これなら勝てる！！

恭「俺は手札からランポスを召喚」

ランポス

モンスター 3

鳥竜族・地属性

攻撃力900 守備力500

効果

このカードはフィールド上に存在するランポスと名の着くカード一枚につき攻撃力が500ポイントアップする

恭「更に手札から魔法カード軍勢の襲撃を発動！」

軍勢の襲撃

魔法カード

ライフを1000払い発動する

自分フィールド上に存在するレベル3以下のモンスターを可能な限りデッキ・手札・墓地から特殊召喚する

恭「俺はライフを1000払いランポスを二体特殊召喚する」

ライフ4000 3000

藍「さっきのお返しだ！激流葬！」

恭「あまい！罨発動！トラップスタン！」

藍「なんだと！？」

恭「更に手札から魔法カード発動！二重召喚」

恭「ランポス一体を生贄に手札からドスランポスを召喚する」

ドスランポス

モンスター 6

鳥竜族・地属性

攻撃力1900 守備力1500

効果

このカードは自分フィールド上に存在するランポスと名の着くカード一枚につき攻撃力が600ポイントアップする

一ターンに一度自分の手札・墓地・デッキからランポス一体を特殊召喚できる

恭「ドスランポスの効果発動！墓地からランポス一体を特殊召喚」

恭介

フィールド

ランポス攻撃力2900×3

ドスランポス攻撃力4300

恭「ランポス達で攻撃だ！！」

藍

ライフ3500      600      - 2300      - 5200      - 9500

藍「うわっ」

恭「大丈夫か？」

藍「ああ、しかし恭介強いな」

恭「まあ、デッキがチートだからな」

藍「それでも上手いこと回してるじゃないか」

恭「そうか？」

藍「ああ、そうだよ」

—「だだいま」

恭「一護達帰ってきたみたいだな」

藍「そうだな私達も戻るか」

恭「そうするか」

次回へ続く



## 試験直前

恭「ここが実技試験会場か」

あれから一週間ほどたって今日はアカデミアの試験当日だ  
ちなみにみんなとは別行動だ

恭「とりあえず中に入るか」

少年移動中

恭「おー、結構人多いな」

あ、ちなみに俺は受験番号が一番だ  
え？この一週間何してたか？  
まだ秘密だ

クロ「デわ、これヨーリデュエルアカデミアの入学試験を始めるノ  
ーネ！受験番号一番はデュエルフィールドに来るノーネ」

さて、行きますか

少年移動中

クロ「受験番号一番から十番まではワタシが直々に相手してあげる  
ノーネ」

恭「よろしく願いします」

クロ・恭「デュエル!!」

次回へ続く

## 入試デュエルvsクロノス（前書き）

更新遅れてすみませんでした！

遅れた理由はあとがきにて  
では本編をどうぞ

## 入試デュエルvsクロノス

恭介

ライフ4000

手札五枚

クロノス

ライフ4000

手札五枚

クロ「では、私から行くノーネ、ドロー」

手札五枚 六枚

クロ「私は手札からカードを二枚伏せ大嵐を発動なノーネ」

手札六枚 三枚

クロ「伏せていたカードは黄金の邪神象なノーネ、効果によって邪神トークンを二体特殊召喚するノーネ」

モンスター

二体

クロ「二体のトークンを生贄に古代の機械巨人を召喚するノーネ」

モンスター

古代の機械巨人一体

クロ「カードを一枚伏せターン終了なノーネ（伏せたカードは聖なるバリアーミラーフォース、私の勝ちなノーネ）」

手札三枚 一枚

クロノス

ライフ4000

手札一枚

フィールド上

古代の機械巨人

魔法・罠

一枚

モブ男A「スゲークロノス先生一ターンで攻撃力3000のモンスター召喚したぞ」

モブ男B「あいつ、負けたな」

あいつら高々3000程度で騒ぐなよ…

恭「俺のターン、ドロ」

手札五枚 六枚

あ………結構良い感じた

恭「俺は手札から魔法カード魂吸収を二枚発動し閃光の追放者を召喚、更にサイクロンを発動、あんたのセットカードを破壊する」

クロ「わ…私の聖なるバリアーが!!」

恭ライフ4000 6000

手札六枚 二枚

恭「手札から、天よりの宝札を発動、たがいに手札が六枚になるまでドロ―する」

恭・クロ

手札六枚

恭「更に魔法カード地砕きを発動古代の機械巨人を除外する」

恭

ライフ6000 8000手札六枚 五枚

クロ「嘘なノーネ、私のフィールドがから空きなノーネ!!?」

恭「まだまだ行くぜ!俺は手札から二重召喚を発動!力の代行者マーズを召喚!」

恭

ライフ8000 9000手札五枚 三枚

クロ「攻撃力0のモンスターを召喚するトーフ、何を考えてるノーネ」

恭「これで解るさ！手札からフィールド魔法天空の聖域を発動！そしてマーズの効果が発動する！自分のライフが相手ライフよりも多い時その数値分攻撃力守備力が上昇する！更に魔法カード天使の施しを発動！カードを三枚ドローして二枚捨てる、手札から捨てた二枚のネクロフェイスの効果によりたがいデッキを上から十枚除外する！」

恭

ライフ9000 31000

マーズ

攻撃力、守備力0 27000

クロ「こんなの嘘なノーネ」

恭「さあ！留めだ！力の代行者マーズでダイレクトアタック！パワーアクス！」

技名は適当です

クロノス

4000 - 23000

クロ「ペペロンチーノ！？」

恭「よし、俺の勝ちだな」

クロ「負けたノーネ、結果は郵便で届くから楽しみにしてるノーネ」

恭「おう、じゃあな」

次回に続く



## 入試デュエルvsクロノス（後書き）

前書きで言った

更新遅れた理由説明

簡単に言つとバイトと学校で忙しくて小説書く暇がなかったんです

11月中は多分更新無理です12月からは更新できると思います

それと予約投稿してみようと思ってるんですが、何時頃に投稿したら良いですかね？

ご意見ありましたらよろしく願いします

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4914v/>

---

遊戯王GX……系？俺、転生するの？

2011年11月17日20時25分発行